

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年5月21日(2009.5.21)

【公表番号】特表2009-510803(P2009-510803A)

【公表日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-010

【出願番号】特願2008-515971(P2008-515971)

【国際特許分類】

H 04 W 74/08 (2009.01)

H 04 W 84/12 (2009.01)

【F I】

H 04 Q 7/00 5 7 4

H 04 Q 7/00 6 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月31日(2009.3.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

設定される場合、ノードがチャネル上のそれ自体への送信を許可することを防ぐ前記チャネルの第1のタイマ(NAV_RTS)を前記ノードで維持するステップと、

設定される場合、前記ノードが前記チャネル上で送信することを防ぐ前記チャネルの第2のタイマ(NAV_CTS)を前記ノードで維持するステップと、

前記チャネルについて、0より大きく、かつ前記NAV_RTSの現在値より大きい予約期間値を有する送信要求(CC-RTS)フレームが受信されたときに前記NAV_RTSを更新するステップと、

前記チャネルについて、0より大きく、かつ前記NAV_CTSの現在値より大きい予約期間値を有する送信応答(CC-CTS)フレームが受信されたときに前記NAV_CTSを更新するステップとを含む方法。

【請求項2】

0に等しい予約期間値を有するCC-RTSフレームが受信されたときに前記NAV_RTSの更新を控えるステップをさらに含む請求項1に記載の方法。

【請求項3】

0に等しい予約期間値を有するCC-CRTSフレームが受信されたときに前記NAV_CTSの更新を控えるステップをさらに含む請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記チャネルについて、0より大きく、かつ前記NAV_RTSの現在値より大きい予約期間値を有する送信要求(CC-RTS)フレームが受信されたときに前記NAV_RTSを更新するステップが、前記CC-RTSが、短フレーム間隔(SIFS)時間より大きいアイドル時間の後に続いて受信されたかどうか判断し、CC-CTSおよびCC-RTSの受信に必要な時間の間、前記NAV_RTSを更新し、取消しが受信されない場合に前記NAV_RTSを延長するステップを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記チャネルについて、0より大きく、かつ前記NAV_RTSの現在値より大きい予約期間値を有する送信要求(CC-RTS)が受信されたときに前記NAV_RTSを更

新するステップが、前記 C C - R T S が、短フレーム間隔 (S I F S) 時間を超えないアイドル時間の後に続いて受信されたかどうか判断し、前記 C C - R T S 予約期間値の間、前記 N A V _ R T S 期間を更新するステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記チャネルについて、0より大きく、かつ前記 N A V _ C T S の現在値より大きい予約期間値を有する送信応答 (C C - C T S) が受信されるときに前記 N A V _ C T S を更新するステップが、前記 C C - C T S 予約期間値の間、前記 N A V _ C T S 期間を更新するステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記チャネルのタイマを維持し、および前記チャネルについて受信された最後の C C - M R T S の転送側ノードおよび最後のノードを記憶し、前記チャネルについて受信された前記最後の C C - R T S の予約期間値を維持するステップをさらに含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記タイマが0の値である間、ノードが、チャネルについて、0より大きい予約期間値を有する C C - R T S を受信するときに、C C - C T S および C C - R T S (C C - R T S H S H K) を受信するのに必要な時間間隔の間、前記チャネルの前記 N A V _ R T S を更新し、前記タイマを前記 C C - R T S H S H K の値に設定し、前記タイマが終了するときに前記チャネルの前記 N A V _ R T S を、前記チャネルについて受信された前記最後の C C - R T S の前記予約時間間隔に等しい値で更新する、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記タイマが0より大きい間、ノードが、チャネルについて、0より大きい予約期間値を有する C C - R T S を最後のノードと同じで、かつ同じチャネルについてのノードから受信するときに、前記 C C - R T S 期間値の間、前記チャネルの前記 N A V _ R T S を更新し、前記タイマをリセットする、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 10】

露出ノードを回避するためのコンピュータ読取り可能コードをその中に含むコンピュータ読取り可能媒体であって、

設定される場合、ノードがチャネル上のそれ自体への送信を許可することを防ぐ前記チャネルの第1のタイマ (N A V _ R T S) を前記ノードで維持するための命令と、

設定される場合、前記ノードが前記チャネル上で送信することを防ぐ前記チャネルの第2のタイマ (N A V _ C T S) を前記ノードで維持するための命令と、

0より大きく、かつ前記 N A V _ R T S の現在値より大きい予約期間値を有する送信要求 (C C - R T S) フレームが受信されるときに前記 N A V _ R T S を更新するための命令と、

0より大きく、かつ前記 N A V _ C T S の現在値より大きい予約期間値を有する送信応答 (C C - C T S) フレームが受信されるときに前記 N A V _ C T S を更新するための命令とを含むコンピュータ読取り可能媒体。